

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 サカタインクス株式会社
コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森田 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5823

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	67,297	10.4	3,869	49.6	4,355	41.0	2,750	74.4
25年3月期第2四半期	60,962	2.9	2,587	38.2	3,089	25.2	1,577	6.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,369百万円 (579.0%) 25年3月期第2四半期 938百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	45.46	—
25年3月期第2四半期	26.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	105,492	51,519	47.6
25年3月期	99,649	45,533	44.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 50,233百万円 25年3月期 44,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	12.9	7,900	36.4	8,700	27.8	5,400	△3.4	89.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社 （社名） 、 除外 1社 （社名） INX Digital International Co.
（注）詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期2Q | 62,601,161 株 | 25年3月期 | 62,601,161 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 2,091,784 株 | 25年3月期 | 2,089,888 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期2Q | 60,510,176 株 | 25年3月期2Q | 60,514,010 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. その他	12
主要な設備の計画	12

※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

・平成25年12月2日(月)・・・機関投資家・証券アナリスト等向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、当社および国内子会社が3月であるため、当第2四半期については、海外子会社（インドを除く）が2013年1～6月、国内連結会社およびインド子会社は2013年4～9月を対象として、記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国の金融政策の動向や欧州債務問題の長期化の影響などにより、アジアにおいても成長のペースが鈍化するなど、全体として弱い回復が続きました。日本経済は、デフレ脱却に向けた経済対策や金融政策に対する期待感から円安・株価回復の傾向となり、景気は緩やかに回復へと向かっているものの、実体経済全般への波及には至っておらず、海外景気の下振れリスクが懸念されるなど厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品や地域密着型製品の開発、TPM活動の水平展開による低コスト化に取り組みました。また、印刷インキ全般の主要原材料価格が依然として高水準で推移していることから、グループ全体でコスト削減を推し進めました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。さらには、持続的成長を果たすために、国内の全社的な生産・物流体制の再構築および今後の機能性材料事業への対応を目的として、滋賀の新工場建設を進めました。

売上高は、アジアを中心に印刷インキの拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を大きく受けたことから、672億9千7百万円（前年同期比10.4%増加）となりました。

利益面では、印刷インキの拡販や徹底したコスト削減に加え、機能性材料の復調が寄与し、為替換算の影響も受けたことなどから、営業利益は38億6千9百万円（前年同期比49.6%増加）、経常利益は43億5千5百万円（前年同期比41.0%増加）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損が減少したことから、27億5千万円（前年同期比74.4%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高					営業利益又は営業損失（△）		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材（日本）	29,377	29,077	△299	△1.0%	△1.0%	1,825	1,612	△212
印刷インキ（アジア）	9,118	11,889	2,770	30.4%	8.9%	357	992	635
印刷インキ（北米）	13,932	16,667	2,735	19.6%	△0.5%	151	671	520
印刷インキ（欧州）	2,902	3,641	738	25.4%	5.3%	49	47	△1
機能性材料	2,799	3,394	594	21.3%	11.6%	△48	268	316
報告セグメント計	58,131	64,670	6,539	11.3%	1.6%	2,335	3,593	1,257
その他	6,209	6,022	△187	△3.0%	△3.0%	173	146	△26
調整額	△3,378	△3,395	△17	—	—	79	130	51
合計	60,962	67,297	6,335	10.4%	1.3%	2,587	3,869	1,282

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

印刷情報関連では、需要の伸び悩みや競争激化の影響を受けて、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を下回りました。パッケージ関連では、飲料、食品関係の堅調な需要に支えられ、フレキソインキ、グラビアインキともに前年同期を上回りました。機材につきましては、低調に推移しました。これらの結果、売上高は290億7千7百万円（前年同期比1.0%減少）となりました。

利益面では、コスト削減に取り組んだものの、原材料高の影響を受けたことや機材販売が低調であったことなどから、営業利益は16億1千2百万円（前年同期比11.7%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、全般的に堅調に推移しました。また、印刷情報関連であるオフセットインキの拡販が進みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、118億8千9百万円（前年同期比30.4%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加やコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことから、営業利益は9億9千2百万円（前年同期比177.9%増加）となりました。

③印刷インキ（北米）

オフセットインキは、メディアの多様化による需要減の影響を受けて、低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、北米や中南米などでのパッケージ需要の高まりを背景として、フレキソインキ、グラビアインキおよびメタルインキがそれぞれ堅調に推移しました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、166億6千7百万円（前年同期比19.6%増加）となりました。

利益面では、生産効率化などによるコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことなどから、営業利益は6億7千1百万円（前年同期比344.8%増加）となりました。

④印刷インキ（欧州）

欧州債務問題の深刻化に伴い、依然として景気が低迷する中で、主力であるパッケージ関連のフレキソインキ、グラビアインキは拡販が進みましたが、全体としては伸び悩みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、36億4千1百万円（前年同期比25.4%増加）となりました。

利益面では、販売コストの増加により、営業利益は4千7百万円（前年同期比2.3%減少）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは需要が低迷する中、前年同期を上回ったものの、インクジェットインキは競争の激化により欧米での販売が伸び悩みました。画像表示材料分野では、市場環境が厳しい中、カラーフィルター用顔料分散液が前年同期を上回りました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、33億9千4百万円（前年同期比21.3%増加）となりました。

利益面では、売上高の増加が寄与したことに加え、のれんの償却額の負担がなくなったことなどから、営業利益は2億6千8百万円（前年同期は4千8百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、時価評価による投資有価証券の増加や前渡金の増加に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比58億4千2百万円(5.9%)増加の1,054億9千2百万円となりました。

負債は、前受金の増加や円安による為替換算の影響があったものの、仕入債務や借入金が減少したことなどから、前連結会計年度末比1億4千3百万円(0.3%)減少の539億7千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末比59億8千5百万円(13.1%)増加の515億1千9百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少や法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費などにより、26億2千7百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間に比べ8億5千9百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、16億9千1百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ25億2千4百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少などにより、26億7百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ50億4千5百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は42億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7千万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、平成25年5月13日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受け易いUSドルにつきましては、第3四半期以降1ドル当たり平均で96.00円としております。

平成26年3月期通期連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月13日)	百万円 135,500	百万円 6,700	百万円 7,600	百万円 4,600	円 銭 76.02
今回修正予想(B)	139,000	7,900	8,700	5,400	89.24
増減額(B-A)	3,500	1,200	1,100	800	—
増減率(%)	2.6	17.9	14.5	17.4	—
前期実績(平成25年3月期)	123,098	5,789	6,809	5,588	92.35

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

INX Digital International Co.は、連結子会社であるINX International Ink Co.に吸収合併されたことにより消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,861	4,290
受取手形及び売掛金	38,197	39,101
商品及び製品	6,290	6,946
仕掛品	792	759
原材料及び貯蔵品	4,934	5,372
その他	1,583	2,862
貸倒引当金	△436	△457
流動資産合計	57,222	58,876
固定資産		
有形固定資産	22,894	24,214
無形固定資産		
のれん	96	90
その他	1,061	1,190
無形固定資産合計	1,158	1,281
投資その他の資産		
投資有価証券	16,750	19,444
その他	2,275	2,411
貸倒引当金	△651	△734
投資その他の資産合計	18,373	21,120
固定資産合計	42,427	46,616
資産合計	99,649	105,492
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,294	21,611
短期借入金	5,788	5,381
1年内返済予定の長期借入金	5,017	4,065
未払費用	2,932	3,057
未払法人税等	1,048	890
賞与引当金	1,068	1,093
その他	2,443	3,375
流動負債合計	40,592	39,475
固定負債		
長期借入金	7,835	8,091
退職給付引当金	2,876	2,927
資産除去債務	71	71
その他	2,740	3,407
固定負債合計	13,522	14,497
負債合計	54,115	53,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	38,084	40,491
自己株式	△640	△641
株主資本合計	50,589	52,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,891	2,774
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	△7,969	△5,536
その他の包括利益累計額合計	△6,079	△2,761
少数株主持分	1,024	1,286
純資産合計	45,533	51,519
負債純資産合計	99,649	105,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	60,962	67,297
売上原価	47,531	51,569
売上総利益	13,430	15,727
販売費及び一般管理費	10,843	11,857
営業利益	2,587	3,869
営業外収益		
受取利息	32	38
受取配当金	136	135
持分法による投資利益	487	422
その他	246	203
営業外収益合計	903	800
営業外費用		
支払利息	223	174
為替差損	116	76
その他	60	63
営業外費用合計	401	314
経常利益	3,089	4,355
特別利益		
投資有価証券売却益	6	6
特別利益合計	6	6
特別損失		
投資有価証券評価損	434	0
有形固定資産除却損	31	—
特別損失合計	465	0
税金等調整前四半期純利益	2,630	4,362
法人税、住民税及び事業税	1,008	1,362
法人税等調整額	△14	74
法人税等合計	994	1,437
少数株主損益調整前四半期純利益	1,636	2,924
少数株主利益	58	174
四半期純利益	1,577	2,750

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,636	2,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△788	912
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△17	1,624
持分法適用会社に対する持分相当額	108	905
その他の包括利益合計	△698	3,444
四半期包括利益	938	6,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880	6,069
少数株主に係る四半期包括利益	57	299

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,630	4,362
減価償却費	1,181	1,246
のれん償却額	101	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△186	66
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	46	38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34	20
有形固定資産除却損	31	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	434	0
受取利息及び受取配当金	△169	△174
支払利息	223	174
持分法による投資損益 (△は益)	△487	△422
売上債権の増減額 (△は増加)	△582	535
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△391	△124
仕入債務の増減額 (△は減少)	△254	△1,364
その他	88	△310
小計	2,692	4,054
利息及び配当金の受取額	277	279
利息の支払額	△226	△176
法人税等の支払額	△975	△1,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,767	2,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,288	△1,557
有形固定資産の売却による収入	8	7
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
投資有価証券の売却による収入	14	10
貸付けによる支出	△15	△13
貸付金の回収による収入	79	15
その他	△5	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,216	△1,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,051	△1,023
長期借入れによる収入	2,855	549
長期借入金の返済による支出	△2,665	△1,519
配当金の支払額	△423	△423
少数株主への配当金の支払額	—	△35
少数株主への払戻による支出	△255	—
その他	△124	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,437	△2,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13	△1,570
現金及び現金同等物の期首残高	5,193	5,861
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	175	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,381	4,290

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	29,356	9,080	12,957	2,872	2,752	57,019	3,942	60,962	—	60,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	38	975	30	46	1,111	2,266	3,378	△3,378	—
計	29,377	9,118	13,932	2,902	2,799	58,131	6,209	64,340	△3,378	60,962
セグメント利益又は 損失(△)	1,825	357	151	49	△48	2,335	173	2,508	79	2,587

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額79百万円には、セグメント間取引消去172百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	29,061	11,848	15,693	3,607	3,337	63,547	3,749	67,297	—	67,297
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	40	974	34	56	1,123	2,272	3,395	△3,395	—
計	29,077	11,889	16,667	3,641	3,394	64,670	6,022	70,693	△3,395	67,297
セグメント利益	1,612	992	671	47	268	3,593	146	3,739	130	3,869

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額130百万円には、セグメント間取引消去221百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

4. その他

主要な設備の計画

平成25年 9 月30日現在

事業所名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額（百万円）		資金調達方法	着手年月	完了予定年月
				総額	既支払額			
滋賀工場 (第 1 期)	滋賀県米原市	印刷インキ・機材(日本) 及び 機能性材料	製造設備 及び 物流設備	5,820	277	自己資金	平成25年 4 月	平成26年 3 月

- (注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2 上記投資予定額に滋賀工場用地の取得金額2,761百万円は含めておりません。